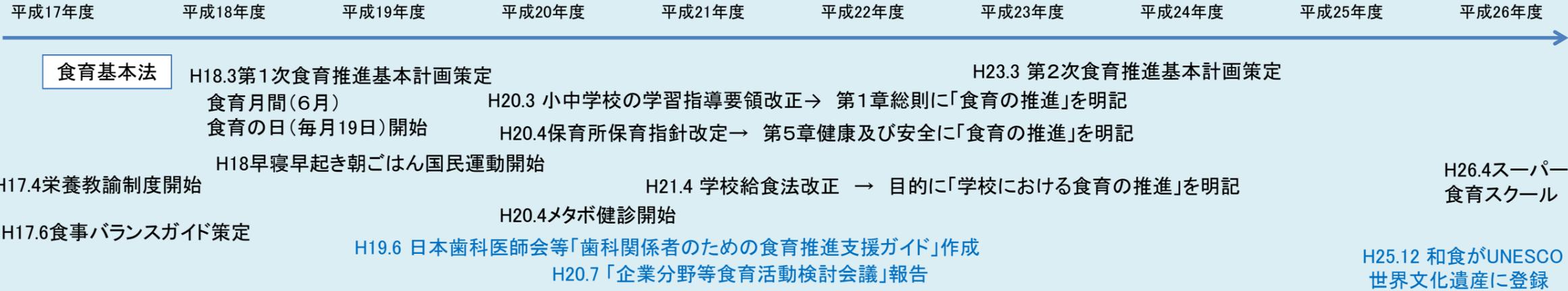


食育政策のインパクト

1. 定性的評価

平成17年の食育基本法制定後、学習指導要領をはじめ各種の制度改正等あり。



2. 定量的評価

数値は改善しているか？ 施策との因果関係を説明できるか？

11指標	当初値	目標値	実績値	評価
食育への関心	69.8%(H17)	90%以上	74.6%	△
家族との共食	9.0回(H22)	10回以上	9.3回	△
朝食欠食	子ども3.5%(H17) 20歳代男性30.6%(H18) 30歳代男性22.8%(H18)	子ども0% 20/30歳代 男性15%以下	1.5% 20歳代29.5% 30歳代25.8%	△
給食地場産物	22.4%(H18)	30%以上	25.1%	△
栄養バランス	58.8%(H18)	60%以上	56.7%	×
メタボ予防	41.5%(H22)	50%以上	40.7%	×
食べ方関心	70.2%(H22)	80%以上	74.2%	△(指標に問題)
ボランティア	28万人(H18)	37万人以上	34.6万人	△
農林漁業体験	27%(H22)	30%以上	37%	△(指標に問題)
食品安全知識	45.7%(H18)	90%以上	64.1%	△(指標に問題)
市町村計画	39.5%(H22)	100%	71.5%	△

ほとんどが目標未達成

その他指標	基準値	実績値(H24)	評価
朝食欠食率			
40歳代男性	15.9%(H15)	19.6%	×
50歳代男性	10.0%(H15)	13.1%	×
朝食欠食率			
40歳代女性	7.6%(H15)	12.1%	×
50歳代女性	6.7%(H15)	9.2%	×
野菜摂取量 (g/日・成人)	293g(H15)	287g	×(健康日本21における目標値は350g)
肥満(BMI25以上)			
男性	30歳代~60歳代いずれも約3割が肥満(H15)	40歳代~60歳代いずれも約3割が肥満	△
肥満(BMI25以上)			
女性	60歳以上で肥満が多い(H15)	60歳以上で肥満が多いが減少傾向	△
糖尿病有病者 (強い疑い+可能性)	1,100万人(H14)	2,050万人	×
日常生活不安程度 (食品安全の順位)	4位(H22)	4位	環境問題、自然災害よりは低い感染症、犯罪より高い
食料自給率			
カロリーベース	(H15) 40%	39%	△(横ばい)
生産額ベース	70%	67%	

ほとんど改善みられず